

# 『PCA 公益法人会計シリーズ』 Ver.1.0 Rev.6.10プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY230807

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

## ◆全体

- バンドルされるSQLサーバーが「SQL Server 2019」に変更されました。

## ◆インボイス対応

- 「法人基本情報の登録」に「事業者登録番号」を追加しました。
- 「法人基本情報の登録」に「免税事業者等からの課税仕入れの経理方法」を追加し、入力時に自動計算するか手動で調整するかを選択できるようになりました。
- 「補助科目の登録」に「事業者区分」「事業者登録番号」を追加し、適格請求書発行事業者と免税事業者等を区別できるようになりました。また、「適格請求書発行事業者公表システム Web-API」を通じて事業者情報の確認と一括更新ができるようになりました。
- 「補助科目の登録」で「補助科目名」「法人番号」を基に「法人番号システム Web-API」を通じて情報をセットできるようになりました。
- 「汎用データの受入」で「補助科目マスター」を受け入れる際、既存データに上書き受入できるようになりました。
- 経過措置用の新しい税区分を追加し、「振替伝票入力（コクヨ式）」などで経過措置用の税区分を自動で読み替えできるようになりました。
- 「振替伝票入力（コクヨ式）」などの「補助」機能で「事業者登録番号」「経過措置を適用する旨」を摘要文に追加できるようになりました。

## ◆デジタルインボイス対応

- 「デジタルインボイスの利用申請」「デジタルインボイスの受信」を追加し、デジタルインボイスを受信できるようになりました。
- 「クイック取引受入」の受入対象に「デジタルインボイス」を追加し、デジタルインボイスから「クイック取引受入」「クイック仕訳転送」を通じて仕訳を転送できるようになりました。

## ◆クイック処理の機能強化

- 複数の税率が混在する証憑も容易に入力できるようになりました。
- 発生日が「YYYY/MM/DD」形式の値も取込可能になりました。

## ◆独自認証におけるシステムユーザーのパスワードポリシー強化

- 「システムユーザー管理設定」に「登録を許可するパスワード強度」項目を追加しました。
- 「システムユーザーの登録」でのシステムユーザー作成、修正時にパスワード強度を表示する機能を追加しました。
- 「システム領域の作成・更新」でのシステム管理者作成時にパスワード強度を表示する機能を追加しました。

## ◆「ファイル」－「データ領域のバックアップ」「データ領域の一括バックアップ」「データ領域のリカバリ」「データ領域の一括リカバリ」

- 『PCA Hub eDOC』へのバックアップが可能になりました。